

# e-dream-s 通信

No. 109 発行：2010年4月11日 特定非営利活動法人 イー・ドリームズ

今月号は、今年と来年の CamTESOL についてや、カンボジアの英語教育事情などの記事をお届けします。お楽しみ下さい。

## 目 次

1. YUKATA	中川 房代	p. 2
2. Google からのお手紙	辻 荘一	p. 4
3. 異文化理解の「先付け」三品	井川 好二	p. 6
4. カンボジア学生とのメール交換 (その2)	山田 昌子	p. 11
5. 自分を変える方法	塚本 美紀	p. 13



カンボジア、プノンペン近郊のキリングフィールド風景  
(撮影:岡田 2010年2月)

# YUKATA

中 川 房 代

CamTESOL が終わって 1 ヶ月半が経つ。3 月末からその報告集の作成に掛かっていたが、今日、やっと完成。その作業が終わって、久々に CamTESOL のホームページを覗いてみると、浴衣の写真が目に入ってきた。CamTESOL 2010 の Conference Dinner (party) の写真である。それも、2 枚も！

1 枚は、河野さんと岡崎さんの 2 人が受付をしているところ、もう 1 枚は、井川家の 2 人の娘さんが CamTESOL 参加者と一緒に写っているものである。今年の CamTESOL 2009 の報告のページで、e-dream-s からの参加者の写真が 2 枚掲載されたのに続いて、である。どうやら、私たちは CamTESOL の Party 写真の常連になりつつあるようだ。

CamTESOL に参加するようになったのは 2 年前。国際的な学会とはいっても T シャツに運動靴でどうぞ、という参加しやすい雰囲気、運営も食事なども手作り感満載の研究大会である。CamTESOL には 2 つ場面での参加があり、1 つは英語教育に関する発表（プレゼン、ワークショップ）であり、もう 1 つはこの交流の場である Party である。一昨年、初めて CamTESOL に参加する際、「（女性陣は）Party で着物を着よう！」ということにし、着物持参でカンボジアに向かった。Party では注目の的、特に振り袖を着ていた田中さんには写真を撮らせてほしいとの依頼が続々とあった。昨年と今回は浴衣で参加。私たちの浴衣姿も CamTESOL Conference Dinner のお馴染みの景色になってきているようで、今回の Party でも「今年もまた来てくれたんだね」と、暖かい歓迎を受けた。もちろん、私たちは英語教育の発表をするためにカンボジアに行くのだが、この Party も大事な場であり、そこで着物や浴衣を着るのはいいなあと思っている。

個人的には、着物や浴衣は成人になってからはご無沙汰で、これまで着る機会はほとんどなかった。持っていないし、一人では着れないし、着なくてもいいのでは、と思ったりもしていたが、こうして海外に行きイベントなどで着てみると、言葉で話す以上に語ってくれるものがあるように思う。第 1 に目立つ。プレゼンを見に来てくれた人が、私たちを見つけて声をかけに来てくれるという効用もある。周りの人たちの記憶に残る。話をするきっかけになる。など、など。もちろん、見掛けだけ、表面だけではダメなのだが、その場で何を着るか、どう振る舞うかも、見せ方や語り方の一つ、大事なポイントだと最近は感じている。

さて、CamTESOL のプレゼンの話に戻る。詳しくは報告集を読んでほしいが、今回、CamTESOL で、自分たちの発表を終え、また他のグループの発表を見て感じたのは、プレゼンでのパフォーマンスの大切さだ。伝えたいことを伝える力、そのパフォーマンスをする力をつけていくことが今後の私たちに必要だということだ。伝えること、効果的に見せること、臨機応変にできること、など、今後の課題が見えてきた。来年も CamTESOL に取り組む予定だ。来年、CamTESOL 2011 は“English for Mobility” をテーマに 2011 年 2 月 26 日（土）～27 日（日）に開催される。今から予定しておいてください。

\*CamTESOL での浴衣姿の写真はこちら

•CamTESOL 2009

→[http://www.camtesol.org/2009conference/Conference\\_Dinner\\_Photos.html](http://www.camtesol.org/2009conference/Conference_Dinner_Photos.html)

• CamTESOL 2010

→[http://www.camtesol.org/2010conference/Conference\\_Dinner\\_photo.html](http://www.camtesol.org/2010conference/Conference_Dinner_photo.html)

Conference Dinner- Photos



# Google からのお手紙

辻 荘一



夕方家に帰ると、テーブルの上にグーグルから e-dream-s 宛に封書が届いていました。「おお、とうとう e-dream-s も Google と取引ができるほどメジャーになったか!」と勇んで開けてみれば、なんのことはない、広告掲載を勧めるダイレクトメールでした。大国中国と喧嘩する Google さんが私たちのような弱小 NPO を相手にするはずもないわなと思ったり、私たちも Google さんの目に留まるほどになったかと思ったり。

だからというわけではありませんが、今回は皆さんに検索をはじめとして、無料で様々なサービスを提供している Google がどうやって資金を得ているかをお話しましょう。

Google は 1998 年の創業から数年間は赤字企業でした、それどころか 1999 年まではほとんど売上そのものがありませんでした。検索エンジンの優秀さや、人類が使う全ての情報を集め整理するという壮大な目的は、多くの人間が賞賛していたのですが、どうやって黒字企業にする決め手がなかなか見つからなかったのです。そして、2000 年に始まったのがアドワーズという課金型リスティング広告です。

ここで、e-dream-s に送付されたダイレクトメールを見てみましょう。「Google アドワーズで売上を拡大しませんか?」と大きく書かれたメールの裏側をみると「5 分でできるお申し込み手順」とあり、5 つのステップが掲載されています。

- Step 1 指定のウェブサイトに行きアカウントを取得
- Step 2 ログインして広告を表示する地域や一日の上限予算などを入力
- Step 3 広告を作る (入力する) 例えば  
カンボジアの子どもたちに英語を  
英語教育支援で子どもたちに人生を切り開く力を  
一口 5000 円 <http://www.e-dream-s.org/>

- Step 4 関連するキーワードを選ぶ例えば  
カンボジア、奨学金、英語教育など
- Step 5 支払情報を入力

となっています。すべてのステップが終了すると、カンボジア、奨学金、英語教育などのキーワードの検索結果のページの上辺や右辺に e-dream-s の広告が表示されることとなります。課金（例えばワンクリック 20 円）は、広告がクリックされ実際に e-dream-s のページが表示された時点で発生します。

アドワーズを新聞広告と比較してみましょう。

アドワーズ	新聞広告
比較的安価で始められる	高額の掲載料が必要
関心のある顧客だけが見る	読者全員が見る
クリックした場合だけ課金	見た人間の数、効果は不明

もちろん、誰もがインターネットをしているわけではないし、新聞広告の優れている点（一覧性があるなど）もありますが、たいへん優れたビジネスモデル<sup>1</sup>であることがわかるでしょう。それは、その後のグーグルの急成長や最近の中国撤退の件を見れば明らかです。

e-dream-s も使命を持って誕生し、さまざまなプロジェクトに取り組んできました、なかなか飛躍できていません。会員の意識と行動力を高め、プロジェクトの内容を充実させて、本当にグーグルと取引ができる NPO に成長させたいものです。

---

<sup>1</sup>株式会社電通『日本の広告 2008』によれば、2008 年（平成 20 年）のインターネット広告費（媒体費＋制作費）は、6,983 億円（媒体費：5,373 億円、制作費：1,610 億円）である。4 大マスメディアの市場成長率は、マイナス（テレビは 4%減、新聞は 13%減、雑誌は 11%減、ラジオは 7%減）だったが、インターネット広告は、前年比 16%増の成長をしている。（ウィキペディア）

## 異文化理解の「先付け」三品

井川 好二

本格的な料理が出る前の箸休めのように、異文化理解のメイン・ディッシュが運ばれる前、ちょっと味見が出来るようにしつらえましたと云えば聞こえは良いが、まだまだ未消化、いやいや未調理な異文化理解の素材を三品、採れたての新鮮さで楽しんでいただこうと、ざくざく包丁を入れ、その勢いだけで一つ皿に盛った先付け<sup>2</sup>。今回は、仕入れの関係で、中国人から見た日本がネタ。喜ばれれば料理人冥利につきる。



先付け三品<sup>3</sup>

まず、一品目。中国からやってきた十数名の留学生たちが、半年間の大阪での生活について語る日本語のスピーチを聞く機会があった。母国で3年間みっちり勉強して日本へやってきた彼らの日本語コミュニケーション能力はかなりのものだが、スピーチの中で言及する文化比較のポイントもなかなかしっかりしていて面白い。

その中の何人かは、大学寮近くの小学校で開かれた運動会を見学し、運動会の日本らしさに感動したと口をそろえる。一人一人がそれぞれに努力し、みんなで協力して、クラスやグループ全体の勝利や名誉のために「頑張る」姿は、中国では見られない。中国人は、個人が自分の能力を発揮して評価される場面では努力するが、個人がひたすら全体や団体のため、いわば「個人を犠牲にして」頑張ることはありえないと云う。

<sup>2</sup>本式の料理の前に出す軽い料理。お通し。突き出し。[明鏡国語辞典]

<sup>3</sup> Photo by Koji Igawa, Jan., 2010



組体操「人間ピラミッド」<sup>4</sup>

例えば、組体操<sup>5</sup>の「人間ピラミッド」。小学生一人一人が、「一つの石」になって、グループ全体で造るピラミッドを支える。一番下の段の子供はさぞ重かろう。日本の小学校の運動会では、当たり前光景だが、中国人の眼には新鮮に映るようだ。小学生時代から、日本社会で生きていく上で大事な「グループ意識」を、スポーツを通して涵養する様子に感銘を受けたというのである。他から指摘されるとなるほどと思える自身の姿。異文化コミュニケーションの功德であろう。

2008年の北京オリンピックで有名になった中国語「加油<sup>6</sup>」(ジャーヨウ)は、日本語では「ガンバレ」と訳される。文字通り、油を注いでもっと燃えろと云う意味だろうが、これを「ガンバレ」と訳してみても、日中で意味するところは、大きくちがっているのだろう。

二品目。中国人留学生のほとんどが、日本でアルバイトをしている。小遣い稼ぎと云う面もあるが、その経験が日本人や日本文化の理解に大いに役立ったと云う面もある。

よくある話として、中国人学生がアルバイト募集の広告を見て応募すると、面接の後、合否について電話をすると云われたが、いくら待っても連絡がない。採る気がないなら、その時はっきり云ってもらった方が、変に期待して待っていないで、次を探せたのに。

やっと採用されたコンビニでのアルバイト。始めの内は、それほど一生懸命になれなかった。たくさ

<sup>4</sup> <http://hw001.gate01.com/hajimeta/kumitaisou/kumitaisoutoppu.htm>

<sup>5</sup> 組体操：組体操(くみたいそう)とは、体操を基礎にして道具を使用せず人間の体のみを用いた集団芸術である。日本では学校の運動会や体育祭で行われるマスゲームの一種である。出典：フリー百科事典『ウィキペディア(Wikipedia)』

<sup>6</sup> 間投詞(給油する、の意味から)転じて応援する時の掛け声、がんばれ。<http://ja.wiktionary.org/wiki/加油>

あるタバコの銘柄がよくわからず、お客さんに「ラク・マイルド」とか云われても、それがどこにあるのかなかなか探せなかった。ちなみに、コンビニでは年齢確認が必要なタバコ類は、レジカウンターの後ろの棚にあって、客がレジにやってきて銘柄を指名すると、店員が自分の後ろの棚から、その商品を取り出し、値段を客に告げて販売すると云う形式になっている。

コンビニに勤めだした頃、店長に、数10種類もあるタバコの銘柄、その銘柄が棚のどの位置にストックしてあるか、そしてそのタバコの値段など、非常に煩雑になるので、覚えなくても良いよと云われた。しかし、現実的にレジに立つと、客が指名した銘柄がなかなか探せなかったり、その値段を覚えていなかったりでは、仕事にならないことがわかってくる。混んでいて客がレジに列を作ると、店員がタバコの注文をテキパキとこなせない場合、多くの客を待たせることになりイライラさせて、店に迷惑をかけることになる。

そう思った中国人留学生は、タバコの全銘柄、ストック場所、値段のすべてを覚えてレジに立つようになった。今では、タバコの注文があると、客にお尻を向けなくて、棚から商品を取って客に渡し、客の方に向かって笑顔で代金を受け取ることができるようになった。ここに、日本式のサービスの基本があると、その中国人留学生は云う。



多くの銘柄のタバコを扱うタスポ<sup>7</sup>

タバコを買うことのない私が初めて知った日本の姿である。ちなみに、タスポ<sup>8</sup>導入で、自販機でタ

<sup>7</sup> [http://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/d/d2/Taspo\\_Vending\\_Machine.jpg](http://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/d/d2/Taspo_Vending_Machine.jpg)

<sup>8</sup> taspo (タスポ) は、社団法人日本たばこ協会 (TIOJ)、全国たばこ販売協同組合連合会 (全協) 及び日本自動販売機工業会 (JVMA) が未成年者の喫煙防止に向けた取り組みのさらなる強化の一環と



バコを買う人が減り、コンビニで買う人が増えていると云う。

三品目は、半年大阪で暮らした中国人留学生が好きになった日本語の言葉。大学での日常よりも、アルバイト先での生活の方が、人間関係の密度が濃くなるものか、好きな言葉には、バイト関連の言葉が多い。もっとも、こうした傾向は、クラブに入っていない日本人の大学生にも、共通なのかもしれない。

まず、「おはよー」「おはようございます」。朝でなくても、日本人はその日始めてあった友人や知り合いに、「おはよー」と云う。最初は変だなと思っていたが、だんだんそう呼びかけあうことが、仲間の印。アルバイト先でも、大学でも、そう呼びかけてもらえることが、グループのメンバーとして認められていること。その嬉しさに気づいたと云う。

次に、「かめへん、かめへん」自分が失敗をした時、バイト先の店長や先輩に、大阪弁でこう云われた時、ホントにホッとして救われたと云う。「ドンマイ」も同様。ちなみに、「ドンマイ」は英語の“Don't mind.”<sup>9</sup>から派生している。

外国でアルバイトをして、言葉も通じなくて、生活や文化の違いなどわからないことがたくさんあって、取り返しのつかないと思える失敗をしてしまった時に、「かまへん、かまへん」と云われると、相手が大変暖かく感じられ、救われた気持ちになって、涙がでそうになる。

そして「ありがとう」。日本人はよくそう云う。

半年間の留学中に、一時帰国をしなければならない事情のあった学生が、中国浙江省<sup>10</sup>の自宅まで、バスで帰る道すがら、車内の中国人の大声で話す姿に、辟易。そういう事に気づく自分になった。

故郷の街のスーパーでショッピング。カウンターのレジ係は、無愛想で、「ありがとう」とも云わない。大好きな「無添加ヨーグルト」を購入した。しかし、中国の無添加ヨーグルトは、ちょっとピンク色をしているとわかった。

帰国して、何でもないことをしてあげた時、とても嬉しそうに「ありがとう」と云ってくれる日本人に、改めて感動した、という。

---

して開発し、2008年3月から順次日本全国に導入されている、成人識別ICカードの名称、及び同カードを使用したシステムの総称である。<http://ja.wikipedia.org/wiki/Taspo>

<sup>9</sup>◆ドント・マインド (Don't mind.) [外来語年鑑 2005年] 気にするな。心配するな。ドンマイとも。英語では通例 Never mind。[株式会社自由国民社 現代用語の基礎知識 2005年版]

<sup>10</sup> (Zhejiang) 中国南東部、東シナ海に面する省。長江下流の南を占め、銭塘江によって東西に分れる。古くから商工業が盛ん。別称、浙・越。省都は杭州。面積約10万平方キロメートル。[株式会社岩波書店 広辞苑第五版]

先付け三品のつもりで書き始めてはみたが、ここまで書いて、ちょっと趣が変わる。今朝の日経<sup>11</sup>に北京のマスコミで引っ張りだこの日本人留学生の話が載っていた。その話を紹介すると、先付けがちよっとメインに近づく気もして、書き出しの意図とは変わってしまうが、ままよ。

加藤嘉一という山梨県出身の、弱冠 25 歳の青年だが、奨学金をもらい六年前に北京へやってきた。現在、北京大学大学院生。中国語で日本の事について執筆しマスコミのインタビューにも中国語で答える。日本事情に飢えた中国人が、中国語で情報を得る事ができるほぼ唯一のリソースとして注目を集めている。その彼が云う。

北京に来てすぐ思ったのは、『あ、日本が違うんだ』ということです。良いものも悪いものもスタンダードだと思っていた多くは日本独特のもの。「世界の中の日本」は、日本ではわからない。

中国人留学生のスピーチも、日本人留学生の話も、これからの日本と中国を考えさせられる素材である。(Saturday, April 10, 2010)

---

<sup>11</sup> 「こもるなニッポン(3) 世界と磨く人間力：98%が外国人」2010年4月10日刊 日本経済新聞朝刊

## カンボジア学生とのメール交換 (その2)

理事 山田昌子

e-dream-s通信2月号に引き続き、プノンペンのACE<sup>12</sup>のもと英語教師<sup>13</sup>で、現在アリゾナ州立大学で言語学を学んでいるカンボジア人Rithさん<sup>14</sup>とのメール交換を紹介しようと思います。Rithさんは、e-dream-sのカンボジア学生支援事業について興味を持ち、多少なりともメールを通じて母国の話ができることが嬉しいと言ってくれる。彼は、私たちが考え始めている学生への援助は、どちらかという「高校生」の方が・・・！と考えておられるようなので、今回はその点について書きたいと思います。

e-dream-s 通信2月号にも書いたように、Rithさんにとって、放課後の private classes での英語学習は大変刺激的なもので、中でも ACE で学んだことは多かったようだ。でも、授業料が高く、彼は多くのコースを取ることができなかったばかりか、1年しか通えなかったと言う。

Rithさんは、個人的見解を言わせてもらえれば、1名のACEの授業料で、他の学校なら4名通えるので、ACEは高すぎると言う。そして、ACEは中学生には”fancy”すぎるし、折角いいプログラムがあっても、普通中学生はそこまで行かずに終わってしまう。いいプログラムまでいかないのなら、American Intercon Institute や Panasastra University のプログラムと然程かわらないのではないかと続ける。

Rithさんの説明を総合すると、彼のいう「いいプログラム」とは、”Diploma Program”で、多くの生徒は”General English Program”に入るらしい。”Diploma Program”の方がレベルが高く、placement testでのプログラムに入るかが決まり、その上”Diploma Program”を卒業するにはIELTS<sup>15</sup>というテストを受け、IELTS5.5という成績をとらなければいけないらしい。これは、TOEFLのスコアでいうと550(CBT:213)くらい<sup>16</sup>。中高生でこの成績をとるのは、容易いことではないと思われる。

“General English Program”でさえ、卒業までこぎつけるのは容易いことではない。全部でレベルが12あり、1つのレベルをクリアするのに3か月かかる。つまり、終了までに、少なくとも3年はかかるという計算になる。少なくとも但し書きを付けたのは、そのコースを落ちる可能性があるからだ。低いレベルでACEに入れば、何度も落ちて、年月が費やされる。ACEには、英語だけではなく、数学・物理・化学・クメール語のクラスもある。カンボジアでは、大学入試には、入学希望の学部や学科によっては、必ずしも英語が必要ではない。例えば、ビジネスを専攻したいなら、数学や一般の知識の入試が課されることになる。生徒が努力しなければいけないのは、英語だけではないということだ。

<sup>12</sup> Australian Center for Education; <http://www.cambodia.idp.com/>

<sup>13</sup> ACEのもと英語教師 Sokhomさんや Sophaさんとも、一緒に勤務されていたようだ。

<sup>14</sup> 今回は、Rithさんに氏名公開の許可を得た。

<sup>15</sup> Wikipediaによると、International English Language Testing System (IELTS) は英語熟練度を測る英語検定の1つ。ケンブリッジ大学 ESOL Examinations、ブリティッシュ・カウンシル、IDP Education Australiaに協同で運営されている。 <http://ja.wikipedia.org/wiki/IELTS> 。

<sup>16</sup> <http://www.asp-ryugaku.com/0English-Level.htm>

Rithさんは言う。中学生と比べ、高校生なら、英語に関してある程度の背景知識があり、大学までは2年間（中学生なら4年間）で済み、費用が節約できる。尤も、早くから学び、よい教育を受けることは中学生にとってより有益であるとも言えるが・・・。

これらは、あくまで Rithさんの私見ではあるが、これを参考にして、中学生か高校生か、ACEか他の学校か、援助する学生の目標は何にすべきなのか、……。私たち e-dream-s が考えなければいけないことは山積み。そして、その後、どう行動するか・・・。

私は、Rithさんと話をすればするほど、わからないこと、もっと知りたいことが増える。カンボジアを、少なくともプノンペンを見たい、訪れたいという思いも募る。カンボジアへの熱い思いは、容易には冷めそうもない。

# 自分を変える方法

塚本美紀

重いコートがいらぬ季節になると、気持ちを入れ替えて新しい自分になりたくなる。衣が変わることで、自分も少しは変われるような気がするからかもしれない。めんどくさがるの癖を直そうとしたり、新しいことを始めたり、自分を変えるために何かをしたくなる季節だ。去年は、写経の道具を揃えた。落ち着いた時間を持つことで、カリカリした性格も少しは治るかもしれないと思ったからだが、墨をする時間も、大きな紙を広げるスペースも見つけることができず、私の写経道具は買って来た時のままだ。

ある人のブログを読んでいたら、Twitter で大前健一が「人間が変わる方法は3つしかない。」とつぶやいていたという。それによると：

人間が変わる方法は3つしかない。1番目は時間配分を変える。2番目は住む場所を変える。3番目はつきあう人を変える。この3つの要素でしか人間は変わらない。最も無意味なのは『決意を新たにすることだ。』

これによると、私は最も無意味な方法で自分を変えようとしていたのかもしれない。「新たな気持ちで」写経をしようと思っても、その時間や場所を思い切って確保しなければいつまでたっても始まらない。けれども、今年の春は思いもかけず、この三つの条件が揃った。

## 1. 時間配分を変える。

この春私の勤務の形態が変わることになった。8時45分から5時までの勤務時間が、12時45分から21時15分までの勤務時間になったのだ。一度は経験してみたいと思っていたのが、今年やっとその条件が揃い、晴れて昼からの勤務となった。朝、ジムに通ったり、ジョギングをしたりして、すっきりした体型になった人もいる。掃除、洗濯を済ませて出勤するので、奥さんからずいぶん見直されたという人もいる。私の場合は、この朝の時間を使って、写経をやってみようと思う。

## 2. 住む場所を変える。

今の所、引越しの予定はないので、部屋の環境を変えようと思う。写経ができるスペース作りだ。家ではわりと大きな机を使っているものの、コンピュータだプリンタだと並べていると残ったスペースで大きな紙を広げるのは、ちょっと難しい。机周りの配置換えをしたいと思っているものの、帰りは遅いし、休日はあまり家にいないので、なかなかできずにいた。これも朝の時間にやっつけようと思う。

## 3. つきあう人を変える。

夕方から登校してくる生徒たちの多くは、ワイルドだが気のいい連中だ。とはいえ、元気な彼らと付き合うには、こちらがゆったり構えなくてはいけないだろう。これまでとは違った生徒たちとのつきあいで、自分がどう変わっていくか楽しみだ。写経で身につくであろう落ち着いた心が、彼らとつきあうのに役立つかもしれない。

条件は揃ったので、気持ちを入れ替えようなどと努力せず、とりあえずこの新しい流れに身を任せようと思う。昼からの勤務が今週から始まる。新しい暮らし、そして新しい自分と出会うのが楽しみだ。

編集後記：4月はいろいろ変化がありますが、職場など環境に変化があっても、e-dream-sの会員であるという自分の立場は、変わらず、それが自分の中に安定感を生み出していることを感じます。2月にCam TESOLに参加し自分の課題をたくさん感じ、e-dream-sの会員として活動に貢献していくためには、自分の力を高め、行動していくことが大切と感じています。(岡田かおる)